

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	GLP吹田プロジェクト	階数	地上4F
建設地	大阪府吹田市岸部南3丁目116番(仮)	構造	RC造
用途地域	準工業地域(一部第1種住居地域)	平均居住人員	1,148 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年8月 予定	評価の実施日	2016年3月28日
敷地面積	75,065 m <sup>2</sup>	作成者	(株)竹中工務店大阪一級建築士事務所
建築面積	42,427 m <sup>2</sup>	確認日	2016年4月1日
延床面積	164,859 m <sup>2</sup>	確認者	(株)竹中工務店大阪一級建築士事務所 野口元



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.8** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

92 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 3.4**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2

音環境	3.0
温熱環境	3.4
光・視環境	3.0
空気質環境	3.6

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5

機能性	3.6
耐用性	3.7
対応性	3.6

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.5

生物環境	3.0
まちなみ	4.0
地域性	3.6

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7

建物外皮の	N.A.
自然エネ	4.0
設備システ	4.0
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.5

水資源	3.7
非再生材料の	3.2
汚染物質	4.0

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.6

地球温暖化	4.0
地域環境	3.6
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 都市型物流施設「スマートウェアハウス」の創造 ・「外」のスマート...外観、外構、ランドスケープ ・「内」のスマート...従業員アメニティ、シミュレーションによる快適環境の創造 ・「つくり方」のスマート...フルPC、省人化工法、BIM	<b>その他</b> ・LEED GOLD取得予定	
<b>Q1 室内環境</b> ・倉庫、省エネ換気計画(気流・温度シミュレーション) ・事務室、自然換気・採光を採り入れたプラン ・休憩室、アメニティに配慮した休息空間の提供	<b>Q2 サービス性能</b> ・免震構造 ・非常用電機 ・井水の中水利用	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・敷地周囲を緑地で囲った緑の街区形成 ・近隣住宅地への敷地内オープンスペースの提供
<b>LR1 エネルギー</b> 省CO <sub>2</sub> 、LCCO <sub>2</sub> を低減させた環境配慮型施設の構築 ・フルPC化による建物の長寿命化 ・ソーラーパネル搭載	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・自動水栓、省水機器の採用 ・躯体と仕上げ材を分別しやすくするように配慮 ・再生材の利用	<b>LR3 敷地外環境</b> ・自転車置場や駐車スペースを適正に確保 ・地域インフラへの負荷抑制に努めている

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0002

Osakafu-新築・既存 2015V1.02

<b>【建物概要】</b>	建物名称	GLP吹田プロジェクト					
	建設地	大阪府吹田市岸部南3丁目116番ほか12筆					
	用途/区分	工場					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					A	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					4	
	みどり・ヒート アイランド対策					3	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない

<b>【評価項目】</b>				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.0	4	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」のスコアによる評価	5.0	4
		建物全体		
		住戸・宿泊		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	4.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.7		
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0		
<b>その他</b>				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				